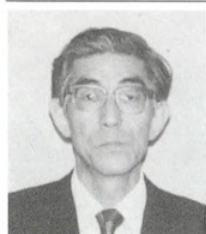


西南学院大学・ 図書館報

夏休み特集号

夏休み中の読書のすすめ

- 高倉洋彰・河島幸夫…… 2・3
卒業論文の作成にあたって 宮原哲・相模裕一 4
先輩が語る卒論・読書…吉村有里・坂口哲広 5
平成元年度各種統計…………… 6・7
報告—EC資料センター視察…………… 8
付録「平成2年度指定図書目録」



教師になること・ 教師であることの厳しさ

児童教育部長 門田 見 昌 明

夏休みが近づいてきた。いつもこの頃になると、卒業を来春にひかえた学生の就職活動が活発になる。いやもう終わった、今頃そんなことを考え始めるのは遅すぎるという声もちろほら聞こえてくる今日この頃である。「日本人よ、そんなに急いで何処に行く」といわれているように、確かに私達は今何とはなく忙しいという実感をもっている。しかし「忙」という字が、「心」と「亡」から成り立っていることをあらためて考えてみたい。

School という英語の語源が「余暇」を意味していたことはよく知られている。時間の余裕、経済の余裕が心の余裕を生みだし、そこから学問や芸術を生み出す場として学校が生まれたという、学校発生の事情をそれは物語っている。古代・中世においては、学校は確かに上流階級・余暇をもつ人々のための学びの場であった。

それは、生きるための、生計を維持するための生産労働（時にはしばしば苦役労働でもあった）から解放されていた人々の学びの場という歴史的な背景をもっていた。だから、この場合の「余暇」や「余裕」が一定の歴史的背景の中で意味していた事情は、十分に考慮しなければならないが、ともあれ学校というところが忙しさから解放された、ゆとりの場という条件を持つことは、今日といえどもその本来的な不可欠の条件であり、それを失うことは、本来の意味での教育を失うことを意味するであろう。

ところで、日本の現実はどうであろうか。中学校・高等学校にこのような意味での、ゆとり

や余裕がなく、子どもたちが現在の生活を充実して生きることがむずかしくなっている。教師もまた例外ではないように思われる。しからば大学はどうであろうか。何となく暇はありながら、心は充実しないというべきか。片やゆとりがなく充実感をもてず、片やゆとりはあるのに充実感がないとすれば、一体このような状況を生み出している原因をどう考えればよいのだろうか。

臨時教育審議会の第2次答申は、最近のいじめ・登校拒否・非行・問題行動等の主要原因を、日本のこれまでの「追いつき、追い越せ型の近代工業文明の負の副作用」だといっている。これはあまりにも急ぎすぎの教育であったことの反省と読むことができる。人間が人間らしく育つためにじっくり時間をかけ、「子どもや青年達の今」を大事にすることが、最大の課題だということであろう。

教職を目指す学生諸君にとって、免許状を取得するための免許法が今年の1年生から少し厳しくなってきた。採用試験もこれを突破することは必ずしも容易ではない。しかし、もっともつかしいのは本当によい教師になることであろう。昨年11月20日、国連で「子どもの権利条約」が採択された。「法律時報」「ジュリスト」「季刊教育法」「解説子どもの権利条約」などが、子どもの自由・人権についての論説を展開している。私達も、今教師であることの厳しさをあらためて自己に問い直す時にきている。

(かどたみ・まさあき：教育制度)

夏休み中の読書のすすめ

過去へのこだわり

文学部教授 高倉 洋 彰

祖先のことを聞かれることがある。考古学、つまり歴史を職とする人間だから、祖先に通じるのは当然のように思われている。しかし祖父母までの名前は覚えているが、曾祖父母となるとういけな。私は祖先に対して冷淡なのだろうか。友人連中を見ていると、どうもそうでもないらしい。我が日本人（と一般化するのには危険と思うが）は過去をあまり振り返らない性質をもっているように思えてならない。

韓国釜山市の東亜大学校の沈奉謹教授とは、妙に気が合い、かれこれ20年近い付き合いがある。日本に、そして九州にもたびたび来られるが、よく鹿児島に往かれる。火山のない韓国人はモクモクと上がる噴煙に興味を示されることが多いので、桜島見物とばかり思っていたところ、薩摩焼の沈寿官氏を訪ねているとのことであった。ある時、沈さんと沈寿官氏は同姓だが関係があるのかと、冷やかしく気味に聞いてみた。途端に沈さんは相好をくずし、実は一族でしかも行列（親族の間の世代の新旧の順位）は自分が父の代にあたると言われる。

この話の真相を確かめたわけではない。あるいは祖先に暗い私をからかわれたのかもしれない。何せ、沈寿官氏の祖先が島津義弘によって強制的に日本に連行されたのは、壬申倭乱（文禄・慶長の役）の際のことで、400年もの遙かな昔である。しかも非道の結果とはいえ、国を異にされているのに、一族のみならず行列までわかる。信じ難い思いがする。

しかしこの話、本当かもしれない。韓国や中国には一族の起源や官位・業績、生没年月日など記した、一族の系譜に当る「族譜」がある。これで一族であれば沈さんと沈寿官氏の行列も

わかる仕組みとなる。そして族譜に通じることが彼らの教養である。結婚を例にとっても、本貫を等しくする一族は何百年たっても結婚できず、族譜への無知は悲劇をもたらしかねないのであるから。1983年の出版だから新しくはないが、中公新書に尹学準氏の著された『オンドル夜話』という一書がある。この本には族譜、そしてそれによって形成される同族意識と過去へのこだわりの意識構造の強烈さが、わかりやすく述べられている。オンドルとは韓国から中国にかけて見られる寒冬季の暖房装置のことだから、汗をかきつつ冬の夜話しを読むのも一興だろう。夏休みに一読をおすすめしたい。

過日、盧泰愚大統領の来日に際し、天皇が謝罪の意を込めて痛惜の念を述べられた。大統領は諒とされたが、果たして韓国国民は納得したのだろうか。過去へのこだわりはそんなものではないと思う。先の沈教授が二年間の留学から帰国される時に、来日前は日本が嫌いだった、悪賢い日本人の本性を知るために留学した、そして日本人の良さを知った、と述懐されたことがある。単なる社交辞令でないことは、その後の密接な交流から納得できる。しかし沈さんが非道に一族を連れ去った日本の過去まで許しているとは思えない。

沈さんの現在は、嫌な日本で生活して、形成された。そこには大統領も天皇も介在しない。介在するのは、相手の心情や習慣などを理解する、そのことである。過去を尊ぶ韓国と、善きにつけ悪しきにつけ過去に拘泥しない日本との溝は、こうした草の根の地道な交流の積み重ねで埋めていくのが遠くて近い道であろう。

(たかくら・ひろあき：考古学)

夏休み中の読書のすすめ

長編小説を読もう

法学部教授 河 島 幸 夫

日本の夏は大変むし暑い。そこで、午後には昼寝をすること、そして午前中と夜の涼しい時間には、ぜひ読書三昧にふけることをおすすめしたい。

私は、若かりし頃、夏休みで仙台の大学から神戸近郊のいなかへ帰る途中、必ず東京で下車し、神田神保町の古本屋で長編小説をあさったものである。そして必ず一、二の作品を手に入れて帰省し、涼しい朝夕は小説の世界に没頭したものだ。

その頃、私が読んだのは、ロシアとフランスの小説である。といっても主としてトルストイ、ドストエフスキー、ロマン・ロランくらいのものだが。この三人は当時(1960年代)の大学生の間で大変人気のある外国作家であった。友人の中には農学部でS君のように、4年間にドストエフスキーの全作品を読破したスゴイヤツもいた。私も負けじと挑戦したもの、ドストエフスキーの作品は『罪と罰』および『カラマーゾフの兄弟』だけ、トルストイは『アンナ・カレーナ』と『戦争と平和』だけしか読めなかった。ただしトルストイの『復活』は高校時代に読んでいた。

また大学4年生の時にはロマン・ロランに挑戦し、『ジャン・クリストフ』と『魅せられたる魂』を読了した。前者は、ドイツとフランスの国境近い町ボンで生まれた青年クリストフが音楽を志し、失恋や耳の病気にめげずウィーンで大成して行き、独仏和解の橋渡しをもするという物語りだ。そのモデルはロランの尊敬したベートーヴェンらしい。これに対して後者は、第一次世界大戦期のフランスが舞台で、主人公はリヴ

イエール(川の意)という名の女性で、人間的な社会主義と平和を求め続けたロランの理想を体現している。

ところで、上記の『復活』以外に、私は高校時代に吉川英治の『宮本武蔵』(講談社)や五味川純平の『人間の条件』(三一書房)を読んで、深い感銘を受けた。時代背景は全く異なるが、両者とも一種の《超人的人物》を主人公としている点は共通している。後に、吉川の宮本武蔵が日本ファシズムの精神的形成に影響を与えたと知って、驚いたものである。また、『人間の条件』を通して私は、はじめての日中戦争下の中国(とくに旧満州)における日本軍の残虐行為を知らされると共に、日本人の中にも主人公の梶のように、中国民衆のために献身した人がいたらしいことを知り、大変慰められたのであった。この梶のモデルが一昨年のキリスト教強調週間に西南に来て下さった隅谷三喜男先生(東京大学名誉教授・経済学)であるという説を知ったのは、大分あとになってからだ。

最後に、以上の作品の中で今夏の読書として学生諸君に最もおすすめしたいのはどれか、と問われれば、やはり『カラマーゾフの兄弟』と答えたい。そこには人間の悲哀と歓喜、絶望と希望、罪と愛、歴史と社会、神と悪魔などあらゆる問題が、主人公アリョーシャとカラマーゾフ家を取りまく人びとの生きざまの中に深く鋭く提起されている。大学生活の貴重な思い出をつくるために、ぜひ今夏はこの世界最高の傑作に挑戦しようではないか。

(かわしま・さちお：政治学)

卒業論文の作成にあたって

卒論―

新しい発見の喜び

文学部助教授 宮 原 哲

英専の学生として在籍していた当時、私は卒論を書かなかった。そんな人間が今、選択であるはずの卒論を半強制的に書かせているゼミの担当者なのだから卒論と図書館についてなどあまり偉そうなことは言えないのかも知れない。

しかし、卒業後大学院で多くのレポート、ペーパー、そして修士論文、博士論文を書く際、図書館というものがすごい所なのだという発見をした。書籍、雑誌、新聞、ビデオテープなど多くの媒介を通してありとあらゆる「情報」を手に入れることができる。目的さえはっきりしていれば、図書館はレポート、論文を書くのに必要な情報はいくらかでも提供してくれる。

しかし、図書館とはこうした生の情報を提供してくれるだけではない。また生の情報だけでは論文は書けない。探し出した情報を、解釈、評価し、それに独自の意味を与え、しっかりとした構成で組み立てて初めて論文といえる。書籍をはじめとする資料は、論文を書くためのいわば原料、材料でしかない。

図書館は情報と、それに意味を与えるために必要な「刺激」と「環境」を提供してくれる。多くの本が並ぶ書棚をあっちへうろうろ、こっちへうろうろしながら必要な情報を探し当て、それがひらめきとなって何か新しい事実を発見した時の感動は何にも代え難い。卒論とはその感動を人に伝え、そして自分に残すための記録である。学生である今しか味わえない「知る」ことの感動を経験して卒業してもらいたい。

(みやらは・あきら：コミュニケーション)

基本書の精読

経済学部助教授 相 模 裕 一

大学に入学してすぐ歴史学の教授に「君の卒論のテーマは何ですか」と問われ、何も答えられず赤面したことがあった。1年生に向かって卒論のテーマを言え、というものはつらさに近いのだが、教授は「何の問題意識もなく、君はこれから4年間なにをするつもりなの？」と私に言いたかったのだろう。

しかしテーマが明確になるのは、ある程度研究が進んでからであろう。私の場合、3年生になってもテーマは明確になっていなかった。当時私はミクロ経済学の精緻な論理展開も好きだったし、マクロ経済学の政策命題を導くモデル分析にも興味があったのである。たまたま夏休みに、図書館で専門書や雑誌を乱読しているうちに根岸隆教授の論文に出会い「ケインズ経済学のミクロ的基礎」というテーマが確定したのである。早速、指導教官に研究方法について相談にいったら、「基本書の精読あるのみ」といってPatinkinの“Money, Interest, and Prices”を紹介された。それから一年間、毎日ノートに各節、各章をまとめながら丹念に読み進めていった。細部に拘りすぎ全体が見えなくなると、序章から読み直した。この地道な作業の中で、文章の構成や注のつけかた、引用の仕方を自然に身につけていった。結局この基本書と3本の最新の専門論文が柱となり卒論がまとまったのである。この基本書は今でも私の研究室にあり、中の書き込みを見る度に、学生時代の事が思い出される。

(さがみ・ゆういち：国民所得論)

先輩が語る卒論・読書

テーマ・目次の決定を

大学院法学研究科 吉村有里

先日、ゼミの後輩に会い、卒論のために何をしたらいいのか聞かれました。私は、彼はきつと私に助言を求めているのだなと思いましたが、「なーに大丈夫ですよ」というばかりで全く力になってあげられませんでした。後で図書館の利用法をアドバイスすればよかったと思っていたところ、折よく図書館の方から原稿を依頼されました。

論文作成は、テーマを考えることに始まります（書き終えた後に決定する人もなかにはいます）。内容が定まったら、次に目次を作ります。これがどのくらい時間を要するのか分かりませんが、このときによく吟味しておかないと書き進むうちに全体が見えなくなります。ある意味では、この作業が済んだときには、すでに論文の大方はできているといえます。

テーマを決めるためには、図書館であるいは担当の先生に過去の論文を見せていただいて、どんなテーマがあるか調べます。気に入った論文は借りて検討し、次に目次を作ります。図書館のインデックス・カードで研究論文を捜して構成を参考にするといいでしょう。目次ができたら、参考文献を購入あるいはコピーして、カードかノートにまとめます。

図書館で作業を進める上でのメリットは、(1)途中で必要になった文献をすぐに捜すことができる。継続して図書館で学習した場合、(2)同じ環境条件が保たれるため、能率が上がる。以上のようなことがいえます。参考になりましたでしょうか。それでは、**Bonne Chance!**

(よしむら・ゆり)

「読書空間」の入口で

大学院文学研究科 坂口哲広

ヘミングウェイ、フィッツジェラルドをはじめアメリカ作家のなかには若くしてデビューした人が少なくない。ブレット・イーストン・エリスもそのひとりで、『レス・ザン・ゼロ』を発表した時は20歳であった。その内容はといえば、フェリーニの『甘い生活』の西海岸版あるいは『卒業』の退廃版といったところだが、読後のインパクトはかなりのもので、結構楽しめた。弱冠20歳の大学生にこれだけの観察眼と表現力があるというのは確かに驚異的であった。エリスが「作家」という職業を選んだのかどうかは分からないが、これからの有望株にあげられるのは確かであろう。

ところで、私が選んだ職業は映画会社の営業であった。ハリウッド映画を配給するというのはい見カッコよさそうだし、実際あの頃の自分にとって夢を与えてくれそうな感じがした。とはいえ、所詮「サラリーマン」というのは苦しいことばかり背負っているものだ。夏休みは一日もなく、退社後は酒を飲むくらいで、そうすると当然頭は退化する一方である。大学で勉強したことなどは蒸発していくばかりであった。

その頃である。どういうわけか読書を恋しく思うようになった。——結局、私は会社をやめ大学院に入学したのであった。当初は〈大学院イコール読書の空間〉という図式しか頭になかった。動機なんて単純なものである。けれど今は、いくら読書といっても授業の予習がほとんどで、楽しんで読むことは少ない。一体いつになったらおれは「読書」ができるのだろうか？

(さかぐち・てつひろ)

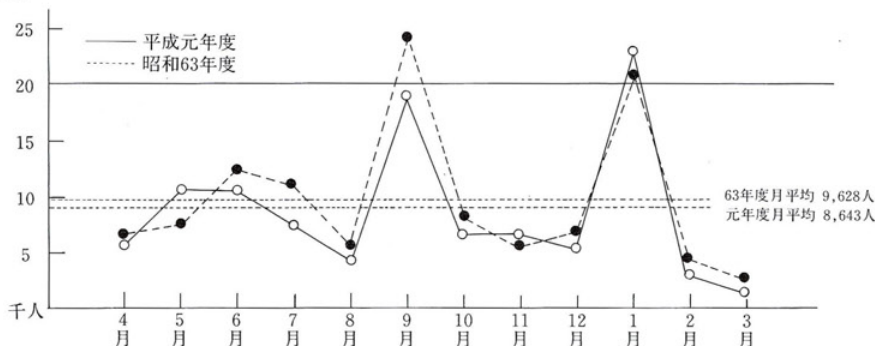
平成元年度各種統計

●学年別入館者数

文学部 46,060人 44,724人	1年次生 23.4% (10,783人)	2年次生 22.3% (10,281人)	3年次生 23.6% (10,856人)	4年次生以上 30.7% (14,140人)
商学部 17,207人 18,061人	19.5% (3,354人)	20.8% (3,584人)	32.8% (5,649人)	26.8% (4,620人)
経済学部 17,611人 15,717人	26.3% (4,626人)	13.1% (2,314人)	27.5% (4,840人)	33.1% (5,831人)
法学部 19,851人 26,288人	16.8% (3,333人)	24.1% (4,782人)	28.5% (5,652人)	30.6% (6,084人)
—合計— 100,729人 104,790人	注 1) 文学部には、英文学科、外国語学科、児童教育学科、国際文化学科を含む 2) 神学部、留学生別科、大学院を除く 3) は前年度			

- ・平成元年度における入館者の総数は100,729人、昭和63年度は104,790人であったので、約4,000人の減少である。昭和62年度は約115,000人の入館者であった。
- ・学部別では、文学部、経済学部学生の入館者は増加し、商学部、法学部は減少している。とくに法学部は昭和63年度に比べ約6,000人の減少である。
- ・本年初めて調査した学年別の比較では、文学部で各年次平均的に利用しているのに反し、他の3学部では1、2年次の利用者が少ない。
- ・3、4年次は1、2年次よりも利用者が多いが、専攻科目の増加や、卒業論文の準備などがその理由の一つであろう。

●月別利用状況



●図書貸出し状況

(単位：冊)

	昭和63年度	平成元年度	備考
学 生	32,117	26,220	大学院、専攻科、別科を含む
教 員	専 任	4,320	6,799
	非常勤	446	
職 員	1,080	895	学院教員、聴講生など
卒 業 生	610		
特 別 利 用	127		
計	38,700	35,211	

・図書の貸出し状況では、教員や卒業生を含む特別利用者の利用は増加しているものの学生の利用が激減している。トータルでも昭和62年度の41,284冊から比較して、減少を続けている。

●新聞・雑誌タイトル数の状況

	日 本 語		外 国 語		計	
	昭和63年度	平成元年度	昭和63年度	平成元年度	昭和63年度	平成元年度
新聞	53	54	29	30	82	84
雑誌	1,353	1,404	1,603	1,750	2,956	3,154
論集	1,968	1,950	38	36	2,006	1,986
合計	3,374	3,408	1,670	1,816	5,044	5,224

- ・雑誌は、とくに学術雑誌の新規購入が多く、毎年増え続けている。
- ・他大学や各研究機関からの論集、紀要は、分離、併合があり、一概に減少しているとはいえない。

- 1) 論集には紀要を含む
- 2) 国内発行の外国語によるものは外国語に含む
- 3) 朝鮮語、中国語によるものは外国語に含む

●文献複写利用状況

利用者	種別	電 子 複 写				マ イ ク ロ			
		昭和63年度		平成元年度		昭和63年度		平成元年度	
学 内	教 員	1,157件	31,495枚	1,271件	38,802枚	29件	1,499枚	9件	982枚
	学 生	4,259	42,894	3,991	38,346				
学 外		763	17,758	435	11,664	14	455	6	186
合 計		6,179	92,147	5,597	88,812	43	1,954	14	1,176

- 1) 学生には大学院生を含む
- 2) 学外は、非常勤・特別利用者(聴講生・卒業生・他大学生)など
- 3) マイクロはフィルム・フィッシュの合計
- 4) 平成元年度の学外は、大学図書館間相互協力による文献複写サービス(390件)を除く

●閉架図書等利用状況

	昭和63年度	平成元年度
図 書	1,242冊	886冊
卒業論文	120件	74件
レコード	57件	34件
新聞雑誌	1,347件	1,377件
合 計	2,766	2,371

- ・閉架図書の利用については、図書、卒業論文の閲覧などは減少し、学術雑誌の閲覧がやや増加している。しかし昭和63年度に比べると総数で約400件の利用者減である。

*図書には、文庫本、辞書を含む

●相互協力による他大学図書館の利用願

	国立大学	公立大学	私立大学	計
学部学生	42件	3	6	51件
大学院生	1			1件
教 員	2			2件
合 計	45	3	6	54件

- ・学生が他大学図書館を利用するために、本学図書館長の紹介状を交付した件数は51件、昭和63年度は48件であったから、若干の増加である。

注) 本学図書館長による利用許可願書を交付したもののみ

●その他の事項

	昭和63年度	平成元年度
年間開館日数	275日	280日
他大学との相互協力による図書貸借	貸出 58冊 借受 26冊	74冊 60冊
学生による購入希望図書	98冊	35冊
学生による紛失弁償	和書 6冊	19冊
学生による図書返却延滞	3,219件	3,125件

- ・学生は希望図書の購入を申し出ることができが、昭和63年度の半分以上であった。
- ・学生による紛失弁償はわずかに19冊であったが、これは昭和63年度の3倍以上である。また、図書返却延滞は3,125件、昭和63年度に比べ件数では減っているものの、延滞金の総額では、昭和63年度をはるかに超えた。

報 告

《EC資料センターの視察》

本学国連寄託図書館に併設されているEC資料センター(EDC)は開設以来21年目を迎えましたが、去る6月6日駐日EC委員会の5年ぶりの視察を受け、整理、分類、利用者への対応などの面での運営が申し分ないものとの高い評価を得ました。来訪したのは、同委員会代表部情報室長ミゲル G. オロスコ氏等2名で、唯一の注文としては、更にPRをというもの。

EDCは一般公開、9:00~16:00(土12:00)

《図書館委員会》

2. 4. 13委員会

- ①図書館業務電算化の進捗状況について
- ②図書館増改築計画の進捗状況について
- ③学術研究所火災による罹災図書について
- ④図書館職員の人事異動について
- ⑤平成2年度新規購入雑誌について
- ⑥平成2年度私大助成申請について
- ⑦平成元年度図書館決算について
- ⑧平成2年度図書館補正予算の申請について

⑨平成2年度共通研究図書費、一般図書費および新聞雑誌費の配分について

2. 4. 27委員会

- ①私大助成申請ならびに高額図書購入申込みについて

《研修・出張》

- 平成2年度第1回私立大学図書館協会西地区部会

2. 4. 19 於：別府大学

長図書館長、堤事務次長出席

- 第41回九州地区大学図書館協議会総会

2. 4. 20 於：別府市(大分医科大学)

長図書館長、堤事務次長出席

- 第11回EDCセミナー

2. 5. 24~25 於：関西大学

駐日EC委員会

篠崎課長、古庄司書出席

- 西日本図書館学会(研究発表会)

2. 6. 2 於：九州産業大学

吉村司書補、斎藤司書補出席

- 私立大学図書館協会春季西地区部会

2. 6. 22 於：沖縄国際大学

長図書館長、篠崎課長出席

お 知 ら せ

- 夏季休暇中の長期貸出

- ・6月27日から実施中
- ・学部学生、専攻科生は5冊まで、大学院生は20冊まで
- ・返却期限は9月19日(休)

- 夏季休暇中の開館、休館

- ・開館一日曜日を除く毎日9:15~21:00
- ・休館—7月26日(木)~27日(金)
- 8月13日(月)~15日(水)
- ・学習室は夏季休暇中閉室

- 卒業年次生のための特別利用

①貸 出

卒論作成のため通常の貸出のほかに3冊以内、40日間利用することができます。また

修士・博士論文作成のため、通常の貸出のほかに5冊以内、60日間利用することができます。

②卒業論文の閲覧

卒論作成の参考に諸先輩の卒論を閲覧することができます。

- ①、②いずれもゼミ担当教授の承認を得なければなりません。希望者は受付に申し出て下さい。

編 集 後 記

『知識は人が天に飛翔する翼である』(シェイクスピア) ジェット機もセスナも、空を飛ぶには翼が必要だ。この夏休み、“社会”という大空を飛ぶための“翼”に磨きをかけよう。(J)

平成2年度 指定図書目録

指定図書とは、各講義を受講する学生が必ず参考にするよう、各講義担当の先生から指定された図書です。

指定図書は全学部学科（神学部は専門教育科目を除く）とも、年間を通して2階閲覧室に置いています。指定図書コーナーに置いている指定図書は、館内閲覧のみで帯出はできませんが、館外帯出用として、副本を各学部の閲覧室に置いています。（副本がない図書もあります）

この指定図書目録は、一般教育科目、専門教育科目にかかわらず、各先生の所属学部別に配列して作成しています。

神学部教員

古澤嘉生

◎キリスト教学

バッハ＝魂のエヴァンゲリスト (磯山 雅/東京書籍)
バッハへの新しい視点 (角倉一朗/音楽之友社)
バッハと教会 (丸山桂介/音楽之友社)
バッハ カンタータ研究 (樋口隆一/音楽之友社)
バッハのカンタータ (バッハ叢書6) (P. ミース/白水社)

◎音楽

西洋音楽史 (ヴァン・エス、船山外訳/新時代社)
ヨーロッパ音楽の歴史 (D. G. ヒューズ/朝日出版社)
音楽史の名曲 (美山、茂木/春秋社)
音楽起源論 (黒沢隆朝/音楽之友社)
五線譜でたどる音楽の歴史 (ハンブルグ/アカデミア・ミュージック)

L・K. シーフト

◎キリスト教学II

キリスト教概論 (熊谷、深町/新教)
キリスト教と現代 (船本弘毅/日本キリスト教団)
新しい福音 (蓮見和男/新教)

文学部英文学科・外国語学科英語専攻教員

安徳典光

◎英文法

The Student's Grammar of English (EK, J.A. van & Robat, N.J. / Basil Blackwell)
The Grammar Handbook (Feigenbaum, I. / London<OUP>)
International English Usage (Todd, L. & I. Harcock)

◎英作文

Longman Dictionary of Common Errors (J.B. Heaton & N.D. Turton / Longman)
Oxford English: A Guide to the Language (I.C.B. Dear / Oxford University Press)

江崎義彦

◎英米文学講読(詩)

英詩概論 (斎藤勇/研究社)
英詩鑑賞入門 (新井明/研究社)
イギリス・ロマン派詩人 (磯田光一/河出書房)
自然と自我の原風景(上・下) (野島秀勝/南雲堂)
現代詩の背景(翻訳) (アイザックス/英宝社)

◎イギリス文学概説

イギリス文学史 (斎藤勇/研究社)
18-19世紀英米文学ハンドブック (米牟田夏雄/南雲堂)
20世紀英米文学ハンドブック (上田勤/南雲堂)
バージェスの文学史 (翻訳) (A. バージェス/人文書院)
Pioneers of English Poetry (G. Bantock / 金星堂)

◎演習 I

鏡とランプ (翻訳) (Abrams / 研究社)
批評の解剖 (翻訳) (Frye / 法政大学)
キーツのオード (小川和夫/大修館書店)
キーツ研究 (山内正一/大阪教育図書)
キーツーその夢と現実 (松浦暢/吾妻書房)

◎イギリス文学研究

椿説泰西浪漫派文学談義 (由良君美/青土社)
コウルリッジ研究 (桂田利吉/法政大学)
コウルリッジの文学と思想 (高瀬彰典/千城)
コウルリッジ研究 (高山信雄/こびあん書房)
エクスタシーの系譜 (高橋康也/あぼろん社)

◎イギリス文学史

イギリス文学史	(斎藤勇／研究社)
イギリス文学小事典	(深沢、塚野／北星堂書店)
A Short History of English Literature	(Ifor Evans／Penguin books)
エクスタシーの系譜	(高橋康也／あぼろん社)

黒 瀬 保

◎イギリス文学演習、大学院イギリス文学演習

The Structure of Chaucer's Rime Words.	
An exploration into The Politic Language of Chaucer	(M.Masui／研究社)

久 屋 孝 夫

◎英 語

ナチュラル・イングリッシュ	(リチャード・メイナード／大修館書店)
ジャパリッシュのすすめ	(渡辺武達／朝日新聞社)
ことばを豊かにする教育	(鶴見俊輔、森毅／明治図書)
ビートルズ詩集	(Lennon & McCartney／シンコーミュージック)
くたばれ！ 英会話	(雲月につき／風媒社)

◎演 習

The Cambridge Encyclopedia of Language	(David Crystal／Cambridge U.P.)
詩学と文化記号論	(池上嘉彦／筑摩書房)
ことば、この未知なるもの	(J.クリステヴァ／国文社)
意味の弾性～レトリックの意味論へ	(佐藤信夫／岩波書店)
国家語をこえて	(田中克彦／筑摩書房)

◎英語科教育法

行き方を問う英語教育	(小川洋／三友社出版)
国際化時代の英語教育	(石井清／三友社出版)
英語50歩100歩	(小田実／河合文化教育研究所)
新英語教育講座～その理論・実践・技術	(國弘正雄／三友社出版)

◎英文法

ことばと人間—新しい言語学への試み	(伊藤克敏外／三省堂)
英語教師の文法研究 (正・続)	(安藤貞雄／大修館書店)
英語の論理・日本語の論理	(安藤貞雄／大修館書店)

◎時事英語

The Daily Telegraph Atlas of The World Today	(N.Grant & N.Middleton／The Daily Telegraph)
新・世界を読むキーワード	(「世界」編集部／岩波書店)
アメリカハンドブック	(佐伯彰一外／三省堂)
西ベルリンで見たこと、日本で考えたこと	(小田実／毎日新聞社)

宮 原 哲

◎コミュニケーション特殊講義

人に好かれて自分を通す	(飯塚忠雄／徳間書店)
-------------	-------------

◎スピーチA

Principles and Tipes of Speech Communication	10th edition
(Ehninger. Douglas／Scott Foresman)	

佐 渡 谷 重 信

◎アメリカ文学史

総説アメリカ文学史	(大橋健三郎外／研究社)
現代アメリカ文学史	(A.ケイジン、杉本外訳／南雲堂)
原典アメリカ史	(アメリカ学会編／岩波書店)
アメリカ文学の展開	(スピラー、吉武訳／北星堂)
日本近代文学の成立 (上・下)	(佐渡谷重信／明治書院)

◎アメリカ文学研究、演習II

アメリカのユダヤ系作家たち	(グッドマン、佐々木肇訳／研究社)
根源的な無垢	(I.ハッサン、岩元訳／新潮社)
アメリカ文学の新展開・小説	(尾形敏彦／山口書店)

H. C. ジョンソン

◎演習

Understanding Drama
Arthur Miller
Recent American Drama
Psychology and Arthur Miller
Twentieth Century Interpretations of Death of a Salesman
The Theater Essays of Arthur Miller
Miller, the Playwright

文学部外国語学科フランス語専攻教員

中村 栄子

◎フランス文学概論

欧米文芸登場人物事典	(大修館書店)
フランス文学講義 I・II・III	(篠沢秀夫/大修館書店)
フランス文学史	(白水社)
増補改訂 新潮世界史文学辞典	(新潮社)

◎フランス語文法

DSF フランス語法辞典 (西村、尾上/白水社)

太田 和男

◎フランス文明論講読

Francoscopie	(Mermet, G./Larousse)
フランス人白書 (上記の訳書)	(メルメ/エディション・フランセーズ)
新しいパリの魅力 (ドレフェス J./洋泉社)	
フランス入門	(三省堂)

文学部児童教育学科教員

大瀨 順彦

◎物理学

パソコンで見る物理シミュレーション	(吉沢純夫/森北出版)
パソコンで学ばやすい物理	(中村敏夫/森北出版)
ブラックホールの世界	(福江純/恒星社)
最新素粒子論	(矢沢潔/学習研究社)
最新アインシュタイン論	(矢沢潔/学習研究社)

◎物理学概論

物理学大辞典	(牧二郎/丸善)
自然界の大きさー物理入門のための9章	(都築卓司/丸善)
先端技術と物理学 (NHKブックス)	(大槻義彦/日本放送出版協会)
第5の力ー物理探究の最前線 (NHKブックス)	(大槻義彦/日本放送出版協会)
ICの話ートランジスタから超LSIまで (NHKブックス)	(垂井康夫/日本放送出版協会)

◎演習

高温超伝導体の構造を追う (フロンティアサイエンスシリーズ)	(浅野肇/丸善)
高温超(伝)電導体データブック I	(新技術事業団/丸善)
高温超(伝)電導体データブック II	(新技術事業団/丸善)
高温超伝導入門	(山香英三外/オーム社)
超電導は物理学を変えるか	(田中昭二、餌取章男/三田出版会)

◎理科概論

光の探検 (プロジェクトサイエンスシリーズ)	(福島肇/コロナ社)
力学は宇宙線に乗って (プロジェクトサイエンスシリーズ)	(広井慎/コロナ社)
エネルギープロジェクト (プロジェクトサイエンスシリーズ)	(笠耐、富次ちよこ/コロナ社)
物質の原子論 (プロジェクトサイエンスシリーズ)	(古川千代男/コロナ社)
手軽にできる実験集 I (プロジェクトサイエンスシリーズ)	(増子寛/コロナ社)

◎情報処理基礎

パソコン統計学入門	(丘本正/共立出版)
ロータス1-2-3による統計入門	(廣松毅外/朝倉書店)

生 野 金 三

◎国語教材研究

第3の書く	(青木幹勇/国土社)
読解過程に書く活動を関連させる指導	(藤原宏監/明治図書)
表現と理解の学習指導	(渡辺郁子/国土社)
小学校国語科指導細案1・2年	(飛田多喜雄/明治図書)

◎演 習

授業が変わる「第3の書く」(青木幹勇/国土社)	
作文過程に読みを導入する授業	(藤原宏監/明治図書)
読み書き関連指導細案1・2・3年	(実践作文の会/明治図書)

山 崎 喜代子

◎保育内容の研究・自然

教育は人間を作るか?	(小原秀雄/農山漁村文化協会)
乳幼児の自然指導	(南川幸/北大路書房)
幼児に土と太陽を	(阿部富士男/あゆみ出版)
乳児の世界	(パウアー/ミネルヴァ書房)
自然の中の遊び	(稲津厚生/玉川大学出版)
人[ヒト]に成る	(小原秀雄/大月書店)

◎生物学

DNA学のすすめ	(柳田充弘/講談社)
男と女の脳をさぐる	(新井康充/東京図書)
バイオテクノロジー	(村上和雄/講談社)
エイズと癌の免疫学	(近藤元治/HBJ出版局)
がん細胞の誕生	(黒木登志夫/朝日新聞社)
細胞の分子生物学	(ワトソン外/教育社)
人体の小宇宙1～5	(日本放送出版)

米 谷 光 弘

◎幼児体育

冒険仲間づくりのサーキットあそび	(米谷光弘/黎明書房)
運動会に生かす体育あそび	(米谷光弘/ひかりのくに)
3歳からはじめよう 幼児の体力づくり	(水谷英三/ひかりのくに)
幼児体育	(勝部篤美/学術図書出版)
保育のなかの体力づくり12か月	(原田碩己/中央法規出版)

◎保育内容の研究・健康

幼児教育法 健康〈理論編〉	(水谷英三、米谷光弘外/三晃書房)
幼児教育法 健康〈実技実践編〉	(水谷英三外/三晃書房)
保育内容総論	(村山貞雄/学術図書出版)
自由な子どもの発見—新しい幼児教育への接近	(山根、米谷他/ミネルヴァ書房)
幼児健康学	(原田碩己/黎明書房)

◎演習、基礎演習

保育学研究	(守屋光雄/昭和堂)
発達と指導	(田中敏隆/中央法規出版)
現代幼児教育論史	(竹内通夫/風媒社)
子供の発達と文化	(小林剛/椋の木社)
子ども学研究	(森上史朗外/建帛社)

文学部国際文化学科教員

高 倉 洋 彰

◎考古学

日本考古学を学ぶ(1)・(2)・(3)—新版—	(大塚初重外/有斐閣)
考古学概論	(斎藤忠/講談社)

赤 尾 美 秀

◎ドイツ文学概論

言語芸術作品	(ヴォルフガング・カイザー/法政大学出版局)
詩学の根本概念	(エミール・シュタイガー/法政大学出版局)
文学とは何か	(テリー・イーグルトン/岩波書店)
挑発としての文学史(H.R.ヤウス/岩波書店)	
物語の構造分析(ロラン・バルト/みすず書房)	

◎西洋文学

トーマス・マン—反語的ドイツ人	(エーリヒ・ヘラー/筑摩書房)
時制論(ハラルト・ヴァインリヒ/紀伊國屋書店)	

後 藤 新 治

◎美術史

現代芸術入門	(仲原佑介/美術出版社)
20世紀美術	(N.スタンゴス/パルコ出版)
現代美術の流れ	(E.スミス/パルコ出版)
反美学	(H.フォスター/勁草書房)
現代の絵画(全24巻)	(高階秀爾外/平凡社)

◎西洋美術史

絵画の見かた	(K. クラーク／白水社)
形象と時間	(谷川渥／白水社)
ケンブリッジ西洋美術の流れ (全8巻)	(岩波書店)
オックスフォード西洋美術事典	(講談社)
世界美術大事典 (全6巻)	(小学館)

◎地域文化概論Ⅸ

美術の歴史	(H. ジャンソン／創元社)
美術の歩み (全2巻)	(E. H. ゴンブリッチ／美術出版社)
ルーブルとバリの美術 (全8巻)	(小学館)
新潮世界美術辞典	(新潮社)
世界の大画家 (全20巻)	(中央公論社)

◎文献講読Ⅰ

印象派	(J. クレイ／中央公論社)
オルセー美術館 (全6巻)	(日本放送出版協会)
カンヴァス版世界の名画 (全24巻)	(中央公論社)
アートギャラリー現代世界の美術 (全21巻)	(集英社)
現代世界美術全集 (全25巻)	(集英社)

森 泰 男

◎キリスト教学Ⅱ

キリスト教がよくわかる本	(井上洋治／PHP研究所)
キリスト教入門	(佐古純一郎／朝文社)
宗教学入門	(ランツコフスキー／東海大学出版会)
異教としてのキリスト教	(松原秀一／平凡社)
科学としての神学の基礎	(F. F. トランス／教文館)

◎キリスト教学Ⅲ

パスカルにおける人間の研究	(三木清／岩波書店)
パスカル『パンセ』註解 (全3巻)	(前田陽一／岩波書店)
パスカルとサド	(佐々木陽太郎／教文館)
パスカル 奇蹟と表徴	(塩川徹也／岩波書店)
フランソワ・モーリヤックインタビュー集	
残された言葉	(キース・ゴシュ／教文館)

◎キリスト教学Ⅳ

カール・バルトの生涯	(ユーバーハルト・ブッシュ／新教出版社)
カール・バルト戦後神学論文集	(井上良雄／新教出版社)
キリスト教倫理	(金子晴勇／教文館)
レジャーの神学	(佐藤敏夫／新教出版社)
民衆の神学の探究	(除南同／新教出版社)

◎地域文化概論ⅩⅢ

「耕す文化」の時代	(木村尚三郎／ダイヤモンド社)
ドイツ零年	(エドガール・モラン／法政大学出版局)
ヨーロッパ 二つの窓	(加藤、堀田／リプロポート)
欧州共同体への道	(佐藤陸雄／中央公論社)
現代ヨーロッパの地域と国家	(宮島、梶田／有信堂)

◎西洋中世哲学思想

愛の秩序	(金子晴勇／創文社)
キリスト教神秘主義著作集 (植田兼義／教文館)	
アベラールとエロイズ	(エチエンヌ・ジルリン／みすず書房)
アシジの貧者	(N. カザンツァキ／みすず書房)
ドイツ神秘主義研究	(上田閑照／創文社)

◎文献講読Ⅰ

ヨーロッパ中世の社会史 (増田四郎／岩波書店)	
タルムード新五講話	(エマニュエル・レヴィナス／国文社)
中世イタリアの都市と商人	(清水廣一郎／洋泉社)
イタリア・ルネサンスへの招待	(デニス・ヘイ／大修館書店)
ルネサンスの異教秘儀	(エドガー・ウィント／品文社)

大 辻 千恵子

◎現代アメリカ論

総合研究アメリカ	(研究社)
原典アメリカ史第7巻	(岩波書店)

商 学 部 教 員

古 林 輝 久

◎経営労務論

労使関係	(高橋洗／中央経済社)
企業社会と労働組合	(高橋祐吉／労働科学研究所)
企業別組合の理論	(河西宏祐／日本評論社)
雇用制	(中條穀外／中央経済社)
年雇制	(原田外／中央経済社)

◎労務管理論

人的資源管理	(グラハム H. F. / 同文館)
アメリカ企業の人的資源活用戦略	(シェスター F. E. / 日本生産性本部)
現代の労務管理	(長谷川広／中央経済社)
日本的経営	(丸山恵外／日本評論社)
権威的秩序と国家	(藤田勇／東大出版会)

後 藤 泰 二

◎保険論

保険学	(庭田範秋／成文堂)
日本保険思想の生成と展開	(小林惟司／東洋経済新報社)
新種保険論	(庭田範秋／慶応通信)

◎企業形態論

企業集団財務論	(坂本恒夫／泉文堂)
銀行・証券	(熊野剛雄／講談社現代新書)
米国の企業買収・合併	(松井、奥村／東洋経済新報社)
企業買収の防衛と第三者割当	(並木俊守／中央経済社)
日本の証券業	(首藤恵／東洋経済新報社)

糸 園 辰 雄

◎中小企業論

技術革新と企業成長	(岩田勲／中央経済社)
現代地場産業論	(下平尾勲／新評論社)
中小企業論を学ぶ	(巽、佐藤／有斐閣)
産地直結	(秋谷重男／日本経済新聞社)

◎商学総論

現代資本主義と流通	(糸園辰雄／ミネルヴァ書房)
転換期の流通経済 第1巻 小売業編	(糸園外／大月書店)
転換期の流通経済 第2巻 卸売業編	(糸園外／大月書店)
転換期の流通経済 第3巻 マーケティング編	(糸園外／大月書店)
流通の国際比較	(田島、宮下／有斐閣)
日本的卸売経営の未来	(田島、宮下／東洋経済新報社)

小 森 俊 介

◎広告論

マーケティング管理発展史	(光澤滋郎／同文館)
--------------	------------

大 矢 繁 夫

◎証券論

株式市場	(倉沢資成／講談社)
株式市場の科学	(山下竹二／中央公論社)
証券会社の対外進出 (国民の独占白書第12号)	(平和経済計画会議／御茶の水書房)
金融大研究'90	(日経新聞社)
証券百年史	(有沢広己／日経新聞社)

◎演習 I・II

株価のからくり	(奥村宏／社会思想社)
株式会社の話	(日経新聞社)
証券・金融ファイナンス	(蠟山昌一／東洋経済新報社)
金融不安定の経済学	(ミンスキー／多賀出版)
国際通貨体制と構造的権力	(本山美彦／三嶺書房)

田 中 謙 一 郎

◎情報処理基礎

電子計算機演習 FORTRAN	(大河内正陽、前田功雄／実教出版)
FORTRAN77入門	(浦昭二／培風館)
FORTRAN77 数値計算プログラミング	(森正武／岩波書店)
マイクロソフト・クイックベシック THIRD EDITION	(高橋三雄／富士ソフトウェア)
Lotus 1-2-3 活用プログラミング300題	(田中廣／日刊工業新聞社)

◎基礎演習

統計用語辞典	(芝祐順外／新曜社)
P E R Tのはなし	(柳沢滋／日科技連)
新MS-DOS入門 (ビギナー編)	(林晴比古／日本ソフトバンク)
ネットワーク犯罪白書 (棕田直子訳／アスキー)	
コンピュータ犯罪のメカニズム	(菅野文友／日科技連)

辻 和 夫

◎交通論

都市交通	(広岡治哉、渡部与四郎／成山堂)
都市交通	(角本良平／晃洋書房)
都市の公共交通	(天野光三／技報堂)
国際航空輸送の経済学	(ドガニス／成山堂)
鉄道史研究試編	(原田勝正／日本経済評論社)

◎公企業論

現代公共企業論	(一瀬智司／東洋経済新報社)
現代公企業総論	(遠山嘉博／東洋経済新報社)
日本公企業の再生	(重森暁／法律文化社)
官業改革論	(加藤寛／中央経済社)
公企業改革の時代	(大島国雄／同文館)

山 口 稲 生

◎会計学原理

会計構造の基本問題	(山口稲生／森山書店)
会計利潤論	(藤田昌也／森山書店)
会計と構造	(田中茂次／税務経理協会)
会計構造論の研究	(笠井昭次／同文館)
中国企業会計の構造と分析	(西村明／九州大学出版会)

吉 武 春 光

◎情報科学

情報処理システム入門	(浦昭二、市川照久／サイエンス社)
教養のための情報科学入門	(中村義作、清水道夫／近代科学社)
新版 文科系のためのコンピュータ入門	(伊東静男外／同文館)
経営系の情報処理概論 (味付重臣外／オーム社)	
文科系のコンピュータ 環境編	(廣瀬健、有澤誠／岩波書店)

◎演 習 I

コンピュータの時代 (第1、2巻)	(NHK取材班／角川書店)
コンピュータが世界を変える (第3～5巻)	(NHK取材班／角川書店)

◎演 習 II

理科系の作文技術 (中公新書)	(木下是雄／中央公論社)
コンピュータ犯罪のメカニズム	(菅野文友／日科技連)
パソコン数楽	(阿邊恵一／サイエンス社)
こうすればわかりやすい表現になる	(海保博之／福村出版)
人工知能とはなにか (NEW SCIENCE AGE 15)	(白井良明／岩波)

経済学部教員

吾 郷 健 二

◎演 習 I

Sustainable Development	(M.Redclift／Methuen)
国際社会学研究	(駒井／日本評論社)
発展途上国の政治経済学 (川田、石井／東京書籍)	
内発的発展論	(鶴見、川田／東大出版会)
Development and the Environmental Crisis	(M.Redclift／Methuen)

◎世界経済論

資源物理学	(槌田敦／NHK)
鎖国の経済学	(大崎正治／J I C C)
経済人類学	(栗本慎一郎／東洋経済新報社)
南北問題の現代的構造 (本多健吉／日本評論社)	
資本主義と南北問題	(本多健吉／新評論)

中 馬 正 博

◎演 習 I

社会人のための計量経済学	(建元正弘、真継隆／日本経済新聞社)
エコノメトリックス	(伴金美外／有斐閣)
計量経済学入門 (日経文庫)	(宮川公男／日本経済新聞社)
国民経済計算の知識 (日経文庫)	(西嶋周二外／日本経済新聞社)

◎統計学

やさしい例による統計学入門 上・下 (F.モステラー外／培風館)
統計小事典 (統計教育推進会／日本評論社)
統計学の手ほどき (日経文庫) (宮川正彬／日本経済新聞社)
統計学 基礎経済学体系 (溝口敏行、刈屋武昭／青林書院新社)

川島信義

◎経済学史

グラスゴー大学講義 (アダム・スミス／日本評論社)
アダム・スミス社会科学体系序説 (A. S. スキナー／未来社)
リカードウ政治経済学研究 (千賀重義／三嶺書房)
オーストリア経済思想史研究 (八木紀一郎／名古屋大出版)
近代経済学の形成と展開 (橋本昭一／昭和堂)

◎演習II

TSPによる経済データの分析 (和合肇、伴金美／東京大学出版会)
計量経済学序説 (R.T. ウォナコット、T.H.ウォナコット／培風館)
経済数学早わかり (西村和雄／日本評論社)

松原宏

◎経済地理

経済地理分析 (西岡久雄／大明堂)
立地と空間的行動 (杉浦芳夫／古今書院)
地域構造の理論 (矢田俊文／ミネルヴァ書房)
経済地理学 (川島哲郎／朝倉書店)
所得資金の地域構造 (矢田俊文外／大明堂)

古川卓萬

◎財政学総論

戦後税制史 (佐藤進、宮島洋／税務経理協会)
日本の税制 (和田八束／有斐閣選書)
税制改革の実証分析 (本間正明、跡田直澄／東洋経済新報社)

◎演習I・II

流通と地域 (長谷川典夫／大明堂)
情報化社会の地域構造 (北村嘉行外／大明堂)
地理学講座2 地理的情報の分析手法 (菅野峰明外／古今書院)
地理学講座6 実践と応用 (高橋伸夫／古今書院)

原田三喜雄

◎演習I

日本経済 これからどうなる (宮崎勇／PHP研究所)
実践ゼミナール 日本経済 (正村公宏／東洋経済新報社)

◎人文地理学

生活の空間 都市の時間 (荒井良雄外／古今書院)
都市問題の軌跡と展望 (東京市政調査会／ぎょうせい)
東京問題の基本構造 (金倉忠之／そしえて)
都市とウォーターフロント (都市環境研究会／都市文化社)
現代社会の地理学 (赤羽孝之外／古今書院)

◎演習II

アジア産業革命の時代 (渡辺利央／日本貿易振興会)

仲澤幸壽

◎厚生経済学

応用ミクロ経済学 (西村周二／有斐閣)
入門 価格理論 (倉澤資成／日本評論社)
ミクロ経済学 (武隈慎一／サイエンス社)
ミクロ経済学 (奥口孝二／有斐閣)
応用ミクロ経済学 (伊藤元重、西村和雄／東京大学出版会)

伊藤治夫

◎資源貿易論

OPEC危機の構造 (伊藤治夫／同友館)

◎演習I

資源貿易の経済学 (山澤逸平、池間誠／文真堂)

遠山 馨

◎演習 I

世界大恐慌の分析 (平田喜彦、佐美光彦／有斐閣)
世界恐慌と国際金融 (佐美光彦、杉浦克己／有斐閣)
大恐慌とニューディール財政 (土生芳人／東大出版会)

吉岡 慎一

◎外書講読 I

A Primer in Data Reduction (A.S.Ehrenberg／John Wiley & Sons)
The Economics of Inequality (A.B.Atkinson／Oxford U.P.)
The Economics of Special Problems (Le Grand & R.Robinson／Macmillan Education)

◎社会保障論

社会保障教室 (小山、山本／有斐閣)
厚生統計要覧 (厚生統計協会)
イギリスの社会保障 (社会保障研究所／東大出版会)
アメリカの社会保障 (社会保障研究所／東大出版会)

法学部教員

堀 真清

◎外交史

ゴルバチョフの世界政策と日ソ関係 (杉森康二／東海大学出版会)
ソ連という国 (外務省外務報道官／世界の動き社)
日ソ基本文書・資料集 (茂田宏外／世界の動き社)
大いなる失敗 (ブレジンスキー／飛鳥新社)

◎演習

『文明論之概略』を読む (上・中・下) (丸山真男／岩波新書)
福沢諭吉 (遠山茂樹／東大出版会)

今井 威

◎憲法

アメリカ憲法と司法審査基準の研究 (土居靖美／嵯峨野書院)
ユーブंक憲法 (芦部信喜／有斐閣)

◎比較憲法

イギリス憲法(グリフィス＝ハートレー／三省堂)
新訂現代憲法論 (カール・レーベンシュタイン／有信堂)
比較憲法 (樋口陽一／青林書院新社)

河島 幸夫

◎外書講読 I

ドイツ帝国の興亡 (S. ハフナー／平凡社)
裏切られた革命 (S. ハフナー／平凡社)
ワイマル共和国の予言者たち (リンゼ／ミネルヴァ書房)
ワイマール・エチュード(パクター／みすず書房)
ドイツ反ファシズム抵抗運動史 (上林貞治郎／大阪経済法科大学出版部)

◎演習

トルストイとの有縁 (北御門二郎／武蔵野書房)
トルストイの作品を読む (北御門二郎外／武蔵野書房)
トルストイ論集 (本多秋五／武蔵野書房)
文読む月日 (下) (トルストイ／武蔵野書房)
トルストイ戯曲集 (武蔵野書房)

◎政治学原論

政治学への接近 (田中浩、安世舟／学陽書房)
政治学批判 (S. ウォーリン／みすず書房)
政治学原理序説 (徳本正彦／九州大学出版会)
社会主義とファシズム (吉村忠穂／刀水書房)
ナチ党の思想と運動 (中村幹雄／名古屋大学出版会)

◎政治史

西洋政治史概説 (小松春雄／中央大学出版部)
戦後ヨーロッパ政治史 (河合秀和外／有斐閣)
ワイマル共和国史(4) (E. アイク／ベリかん社)
1939ードイツ第三帝国と第二次世界大戦 (井上茂子外／同文館)
戦後ドイツ社会民主党史 (S. ミラー／ありえす書房)

◎国際政治論

国際政治のダイナミクス (大島英樹外／早稲田大学出版部)
欧米同盟の歴史(上・下) (A. グロセール／法律文化社)
戦争と平和 (猪口邦子／東京大学出版会)
国民国家の分裂と統合 (ヨーロッパ現代史研究会／北樹出版)
1940年代の世界政治(川端正久／ミネルヴァ書房)

◎基礎演習

長崎市長への7300通の手紙 (径書房)
女・天皇制・戦争 (鈴木裕子外／オリジン出版センター)
危険な話 (広瀬隆／八月書館)
昭和天皇の戦争責任 (井上清／明石書店)
ミュンヘンの白いバラ (山下公子／筑摩書房)

古賀 衛

◎国際法 I

ブラウンリー・国際法学 (I. ブラウンリー／成文堂)
国際法 (山本草二／有斐閣)
国際法講義(上・下) (田畑茂二郎／有信堂)
国際法概論(上・下) (高野雄一／弘文堂)

◎国際法 II

国際法資料集(第4版) I～V巻 (大沼保昭／東信堂)
ケースブック国際法(田畑茂二郎／有信堂高文社)
基本判例双書 国際法 (宮崎繁樹／同文堂)
国際司法裁判所 (高野雄一／東大出版会)

中 森 宏

◎民法 I・II、破産法

ブレップ民事訴訟法 (小島武司／弘文堂)
破産 (伊藤眞／有斐閣)
破産法 (伊藤眞／有斐閣)
倒産判例百選(新版) (三ヶ月／有斐閣)
民事訴訟法の争点 (三ヶ月／有斐閣)

◎民法 I、法学、基礎演習

判例法学 (西村外／有斐閣)
口述民事訴訟法 (谷口安平／成文堂)

野村 修也

◎演習

合名会社社員責任論 (田中耕太郎／有斐閣)
企業合同法の研究 (大隈健一郎／有斐閣)
私法論文集 正・読 (松本丞治／有斐閣)
西独株式法 (慶応通信)

◎基礎演習

製造物責任 (安田総研／有斐閣)
新版 自動車事故の法律相談(補訂版) (加藤一郎外／有斐閣)
検証 医療事故 (本田勝紀外／有斐閣)
現代不法行為理論の一展望 (平井宜雄／一粒社)
事故と保険の構造 (吉川吉衛／同文館)

◎商 法 A

会社法学の第二の新傾向とその批判 (田中誠二／千倉書房)
会社法入門 (前田庸／有斐閣)
会社法 (森本滋／有信堂高文社)
会社法詳説 (神崎克郎／中央経済社)
会社法 (堀口亘／国元書房)

◎商法概論

現代商法 I 総則・商行為(永井和之外／三省堂)
現代商法 II 会社法 (永井和之／三省堂)
論点・学説・批判／株式会社法 (加美和照外／中央経済社)
新国際取引ハンドブック (澤田壽夫／有斐閣)
商業信用状論 (伊沢孝平／有斐閣)

◎外 書 I

英米法律用語活用集 (鈴木肇／商事法務研究会)
The Japanese Legal System (田中英夫／東大出版会)
Introduction to Japanese Law (野田良之／東大出版会)

小田島 真千枝

◎民法 I、民法 II

民法(1)(2)(3) 有斐閣双書 (遠藤浩外／有斐閣)
目で見る民法教材 (淡路剛久外／有斐閣)
民法判例 1 有斐閣双書(甲斐道太郎外／有斐閣)

◎民法 A

民法読本 1 総則・物権法 (好美清光、米倉明／有斐閣)
民法(1) (2) (3) 有斐閣双書 (遠藤浩外／有斐閣)
目で見る民法教材 (淡路剛久外／有斐閣)

沢野直紀

◎金融法

金融法 (木内宜彦／青林書院)

関口正司

◎政治思想史

政治思想史の基礎知識 (有斐閣)
近代政治思想史(1) (2) (3) (4) (5) (有斐閣)
政治学史 (福田歓一／東大出版会)
ユートピアと権力 (上・下) (升味準之輔／東大出版会)
西欧政治思想 (田中治男／放送大学教育振興会)

◎政治学原論

いま政治になにが可能か (佐々木毅／中公新書)
新中間大衆の時代 (村上泰亮／中公文庫)
自由からの逃走 (E. フロム／東京創元社)
フランス革命を考える (F. フェレ／岩波書店)
現代社会主義を考える (溪内謙／岩波新書)

高橋貞夫

◎労使関係法 I

注釈労働組合法 (上・下) (東大労働法研究会／有斐閣)
注釈労働組合法・労働関係調整法 (中山和久外／有斐閣)
団結権侵害とその救済 (外尾健一／有斐閣)
不当労働行為の認定基準 (塚本重頼／総合労働研究所)
労働法 (第二版増補版) (菅野和夫／弘文社)

◎労使関係法 II

労働基準法 (下井隆史／有斐閣)
労働契約の研究 (岸井貞男外／法律文化社)
変容する労働時間制度 (山口浩一郎外／日本労働協会)
外国人労働者 (手塚和彰／日本経済新聞社)
欧米における男女機会均等法制 (女性職業財団)

◎基礎演習

均等法時代を生きる (大脇雅子／有斐閣)
外国人労働者のフランス (フランソワーズ・ギヤスパール外／法律文化社)
フランスの異邦人 (林瑞枝／中央公論社)
じぱんぐ(毎日新聞東京本社社会部／毎日新聞社)
外国人労働者迎え入れの論理(宮島喬／明石書店)

◎演習

セミナー労働時間法の焦点(菅野和夫外／有斐閣)
新労働時間法のすべて (山本吉人外／有斐閣)
国際労働力移動 (森田桐郎／東大出版会)
現代資本主義と外国人労働者(森広正／大月書店)
外国人労働者の受け入れ政策 (労働省職業安定局外／雇用問題研究会)

田村茂夫

◎商法 I

レクチャー商法入門 (北沢、浜田／有斐閣)
商法の基礎 (倉澤康一郎／税務経理協会)
商行為法〔第二版〕 (平出慶道／青林書院)
企業会計法入門 (岸田雅雄／有斐閣)
現代企業法の展開 (竹内還暦記念／有斐閣)

◎商法 II

会社法 (龍田節／有斐閣)
会社法入門 (前田庸／有斐閣)
現代アメリカ会社法 (改訂版) (並木俊守／中央経済社)
日米インサイダー取引法と企業買収法 (並木俊守／中央経済社)
会社法学の第二の新傾向とその批判 (田中誠二／千倉書房)

蓮井良憲

◎商法 II

新版注釈会社法(11) (有斐閣)
E C 会社法の形成と展開 (森本滋／商事法務研究会)
アメリカ模範会社法 (北沢外／商事法務研究会)
デラウェア会社法 (北沢外／商事法務研究会)
カリフォルニア会社法(北沢外／商事法務研究会)

上 村 達 男

◎証券取引法

証券取引ハンドブック(最新版) (河本一郎外／ダイヤモンド社)
全訂コンメンタール証券取引法 (田中、堀口／勁草書房)
米国証券規制法概説 (D. L. ラトナー／商事法務研究会)
Securities Regulation, 3rd Ed. (D. L. ラトナー／Nutshell Series West)

横 田 守 弘

◎憲 法

自由と国家 (樋口陽一／岩波書店)
憲法の現況と展望(山内敏弘、古川純／北樹出版)
テキストブック憲法〔第二版〕 (奥平、川添、丸山／有斐閣)
憲法判例集〔第四版〕(野中俊彦、江橋崇／有斐閣)
憲法の解説Ⅰ 総論 (野中俊彦、浦部法穂／三省堂)

◎憲 法 Ⅱ

憲法学教室Ⅰ (浦部法穂／日本評論社)
比較憲法(改訂版) (樋口陽一／青林書院)
憲法Ⅱ 人権(1) (芦部信喜／有斐閣)
憲法Ⅲ 人権(2) (芦部信喜／有斐閣)
憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ (芦部信喜／有斐閣)

山 田 洋

◎行政法Ⅰ

行政判例百選Ⅰ・Ⅱ (別冊ジュリスト／有斐閣)
法学ガイド 行政法 (別冊法学セミナー／日本評論社)
行政法の争点 (ジュリスト増刊／有斐閣)
行政救済法(基本法コンメンタール) (別冊法学セミナー／日本評論社)

◎行政法

行政法 (南博弓／有斐閣)
行政上の確約の法理 (乙部哲郎／日本評論社)
住民訴訟 (園部逸郎／ぎょうせい)
国土開発と環境保全 (阿部泰隆／日本評論社)
放送法制の課題 (塩野宏／有斐閣)